

令和6年度 小樽双葉高等学校 学校自己評価書

I 学校教育目標 自分の役割を貫き、新しい価値を創り出し、社会や身近な人に貢献できる力を育てる

- 1 自分力を育てる 自分の本来の可能性を信じ、深め、役割として貫く力を育てる
- 2 考創力を育てる 自ら考え知を鍛え上げ、より高い、新しい価値を創り出せる力を育てる
- 3 共感力を育てる 様々な状況や異なる文化を受け入れ、多様な社会に貢献できる力を育てる

II 自己評価と改善方策

	評価の観点	今年度の自己評価	改善方策
学習指導	教員の授業力が向上したか	授業力向上のため、年2回の授業公開を行った 授業規律の確立に課題があった	教科会議で授業の実態を把握し、授業規律や学力向上を協働で具体化する
	学習意欲の低い生徒への対応が強化されたか	低学力の生徒へ考査前学習会の開催し、学習の機会を増やした	担任・学年で低学力生徒を把握し、個に応じた指導を強化する
	家庭学習時間の確保と学習意欲の向上が高まったか	特進では家庭学習の時間が増えたが、総進では増えなかった	教科会議で家庭学習促進の取組を具体化する 資格試験を奨励する
生徒指導	基本的な生活習慣が確立したか	服装・頭髮や、挨拶など学年によるばらつきがみられた	学年と共同で基本的な生活習慣確立の取組を強化する
	いじめ・問題行動への対応が充実したか	啓発資料を配布し、いじめ防止基本方針の啓発に努めた	いじめ防止の取組の理解を広める
	特別な支援が必要な生徒に対応したか	サポート委員会とスクールカウンセラーが共同で対応した	ほけんだよりでスクールカウンセラーの浸透を図る
進路指導	進路情報が提供されたか	進路だより30号、特進版11号、進路の窓13号発行された	継続的に適切な情報提供に努める
	生徒の進路意識が高まったか	日常的進路指導が不十分で進路意識は十分高まらなかった	日常的に全教員で進路指導できるよう研修を重ね取組む体制を確立する
	進学講習等が充実したか	FTBTime等講習は充実した 授業と講習の連携が不十分だった 生徒の拘束時間が長い	授業との連動性を意識した講習を確立する 模試の精選が必要
特別活動	生徒会活動が充実したか	学校祭は充実した 生徒の主体性を高める取組が必要	校則の見直しを生徒会と協議しながら進める
	部活動が活性化したか	強化指定部以外の部活動も充実し活性化した	強化指定部集会で部員としての自覚を高める
入試広報	本校の魅力が広報されたか	小樽・後志・札幌市西部地区を重点に中学校訪問を強化した	より深くアピールするため中学校訪問を充実する
	SNS等を活用した広報活動が強化されたか	インスタグラムの運営などばらつきがみられた	SNS等の定期更新のための体制を強化する
通信制	通信制の学びを深めたか	全日制と協働の取組を実践した	引き続き充実させる
	レポートの提出率を上げられたか	未提出者の把握に手間取った	新教務システムで把握する
学校経営	教員の資質が向上したか	スクールコンプライアンスのプリントを発行した	担任力の強化を図る
	組織活動が強化されたか	月例の分掌会議で協働体制を強化した	報告・連絡・相談しやすい職場風土を確立する
	開かれた学校づくりが進んだか	クルーズ船歓迎や小樽幼稚園との協働が進められた	学校祭の一般公開を充実させる等いっそう地域との連携を重視する
	保護者と連携を進める	学習指導や進路指導等十分な連携ができていなかった	進路指導等で保護者説会を開くなど連携を深める